



「に」げずに  
「し」んじて  
「かん」しゃして  
「き」ようりよくする



2025年度  
**西神吉小だより**

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 160

～ 三寒四温の先に ～

立春を過ぎ、暦の上では春を迎えました。三日寒い日が続いたかと思えば、次の四日は暖くなる「三寒四温（さんかんしおん）」の言葉通り、一歩ずつ、しかし確実に来るべき春の足音が聞こえてくるようです。この不安定な天候を繰り返しながら、木々が芽吹き準備を整えるように、子どもたちもまた、進級・進学という大きな節目に向けて、心と体の準備を整える大切な時期を迎えています。

「三寒四温」の季節、空模様が定まらないのと同じように、子どもたちの心もまた、期待と不安の間で大きく揺れ動いているのではないかと思います。特に、卒業まで残りわずかとなった6年生にとっては、小学校生活の総仕上げというプレッシャーがかかる時期です。時にはその心の揺れが、反発や自分勝手な行動、友人との衝突として表れてしまうこともあります。大人から見れば「もっと自覚を持ってほしい」ともどかしく感じる場面もあるかもしれません。でも、この1年間をふり返って見ると、大きな行事だけでなく、普段の学校生活においても、ひとりひとりの成長や優しさがキラリと光る瞬間が幾度となくありました。

三寒四温を繰り返すことで、植物のつぼみは固い殻を破る準備をします。今、子どもたちが経験している成功や達成感、また葛藤や反省は、中学校という新しいステージで自分らしく花開くための、大切な「脱皮」の過程なのだと思います。



先日、6年生は、「卒業まで残り〇〇日」のカウントダウンカレンダーを作っていました。西神吉小学校で過ごす、残りわずかな登校日。完璧な姿でなくて構いません。「楽しい思い出ができた」「この学校で過ごせてよかった」「中学校ではこう頑張りたい」、そんな前向きな一言を、一つでも多く引き出せるよう、職員一同、がんばっていきたくと改めて思います。

そして、1年生から5年生にとっても、今は「引き継ぎ」の季節です。今の6年生はもちろん、これまで西神吉小学校を巣立っていった先輩たちが築いてきた伝統というバトンを、しっかりと受け取る準備をしてほしいと思っています。

寒暖差の激しい時期ですが、体調管理に気を配り、一日一日を「やりきった」と思える充実した毎日にしてほしいと願っています。

保護者の皆様におかれましては、三寒四温の折、お子さまの体調変化に十分ご留意いただき、温かい見守りをお願い申し上げます。

西神吉っ子の一コマ

ピッカリ！  
ピッカリ！



1日1日を大切に過ごそうね！！